

## みやぎGPNニュース



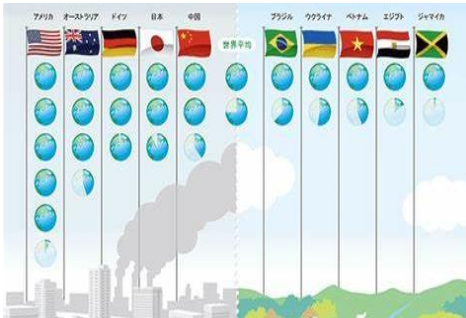
今回の  
内容

- 情報提供「CFP」とは？
- 会員企業の取組「株式会社宮城衛生環境公社」
- 今年も6月25日サンモール一番町開催、SDGsマルシェ

2023.06

Vol.25

## ● 情報提供「CFP」とは？



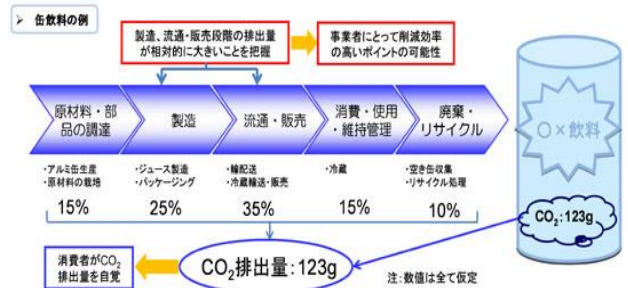
左の図はエコロジカルフットプリントの国別比較です。皆さんご存じだとは思いますが、エコロジカルフットプリント(英: ecological footprint、EF)とは、人間の活動において、地球環境に掛けている負荷の大きさを図る指標です。人類が使用する資源を再生産、及び廃棄物の浄化に必要な面積で表しています。

同様に、カーボンフットプリント(CFP)とは、商品やサービスのライフサイクル全般(原材料調達から廃棄・リサイクルまで)で排出された温室効果ガス(GHG)の量を、CO<sub>2</sub>量に換算し、商品やサービスに表示し「見える化」するものです。

カーボンフットプリントは、2007年にイギリスが先行して制度を導入し、その後、フランスやドイツ、韓国等でも取り組みが開始されるなど、GHG排出量を削減するツールの一つとして国際的に注目されています。カーボンフットプリントの普及が進むことによって、事業者と消費者の双方による相乗的なGHG排出量の削減につながると期待されています。

右の図のように缶飲料を例にとって仮定した場合、事業者消費者共にGHGが123gである事を自覚することになります。

このことによってグリーン製品と同様、GHGを可視化し「つくる者つかう者」が一体となって取り組んでいかなければカーボンニュートラル達成はかなり難しいと思います。当然相当な法整備も必要でしょう。



## ● 会員企業の取組「株式会社宮城衛生環境公社その I」

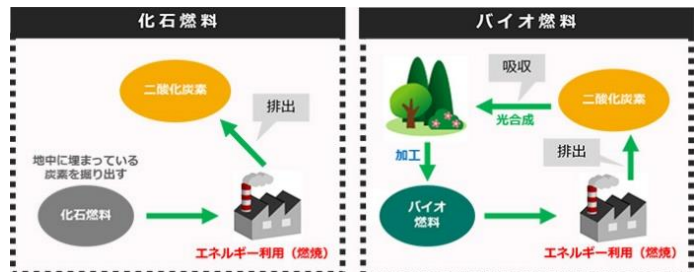


今月の企業紹介は、昨年2月に創立40周年を迎えた(株)宮城衛生環境公社さんです。「社員が一番の宝物」そう語る砂金社長にお話を伺ってきました。

緑をベースにクリーム色のラインが映えるこの車に出会わない日はないと思います。一見地味な廃棄物処理というお仕事ベースには、創業以来続く、地域貢献という理念が息づいています。(株)宮城衛生環境公社さんは「地域の衛生環境」を守り続け、積み重ねた経験をもとに多様な事業を展開しています。その中で今回は、「脱炭素経営」についての、具体的取組をご紹介します。

宮城県第一号となる「再エネ100宣言RE Action」への登録から「脱炭素経営」を成長戦略として位置づけ取組んだのが自家消費型太陽光発電所の設置です。設置に伴い省エネの徹底、社内のデジタル化に努めていく中で、環境経営は発展していきました。営業車にPHVを導入。この車は災害時の非常用電源として利用可能です。会社敷地内に充電設備が設置されていたのには驚きました。

加えて今年5月12日より仙台市中心部を走行する家庭のごみ収集車一台にバイオ燃料の運用を開始。寒冷地で実績を踏まえ、今後事業所で使用している100台近い車両についてもバイオ燃料を計画するという目標を掲げ、カーボンニュートラル実現に貢献したいと話されていました。このことにより事業所で使用する車両の二酸化炭素排出量が20%削減可能になるということです。



次ページに続く

●会員企業の取組「株式会社宮城衛生環境公社そのⅡ」

最後に太陽光パネルの処理・再資源化するPVリサイクル事業についてご紹介させていただきます。10年後にピークを迎えると予想される使用済み太陽光パネルの再資源化に向けて令和5年4月、「エコロジーセンター愛子」を仙台市内に竣工しました。処理フローについての詳細については省力させていただきますが、使用済み太陽光パネルからジャンクボックスやアルミ枠を取り外し、残ったパネル部分を処理してガラスとバックシートを分けるという工程です。災害などによって変形した太陽光パネルの処理も可能で、すべてを機械に頼ることなく手作業については新たな雇用も見据え構成されたラインがとても魅力的です。さらに工場の使用電力60%を賄っている「第二太陽光発電所」を設けたことは、出来ることに挑戦する会員企業の行動にみやぎGPN事務局としても大変誇らしく感じました。

社屋前に相互扶助という理念が刻まれた石像が建てられています。改めて持続可能な社会形成に向け我々も出来ることに目を向け力を尽くしていかなければならないと改めて実感した取材となりました。



**エコロジーセンター愛子**  
PVリサイクル事業



見て、感じて、楽しめる

# SDGs MARCHE

尚綱学院大学が2016年度から実施してきた「環境マルシェ」。2020年度からは、「SDGsマルシェ」として実施されています。

昨年は、みやぎGPN会員7団体が資源循環とエネルギーをテーマに一つのブースに集まり、展示・体験ワークショップを行い見事、将来性部門で優秀賞を獲得しました。今年度も仙台市や宮城県及び会員企業と共に出展しますので是非会場まで足を運んでください。  
日時：2023年6月25日10:00～15:00 場所：サンモール一番町商店街アーケード  
今年のテーマは、身近な課題を見つけよう！  
内容：SDGsに関わる取り組み内容の紹介展示、ワークショップなど [こちらからどうぞ](#)



●新循環：ミュージックドネーション「Strings Save The World」の経過報告と植樹会のご案内



令和4年3月から始まったNPO法人環境会議所東北の取組が口コミで広がり全国的にその輪を広げています。廃棄されている使用済みギター&ベース弦に含まれている非鉄金属(ステンレス・リン・すず・ニッケル・銅など)を回収・循環させる取組です。廃棄される音楽系廃棄物を、回収拠点(ライブハウス・楽器店・コンサート会場等)で回収し、事務局で分別後換金し活動の資金に充てるといったものです。現在130kgを越える使用済み弦が寄せられ分別作業に追われています。支援する活動として、途上国の子供たちを支援する活動(特に教育に関するもの)、又植林活動に充てるとしております。この度、全国から届けられた想いを是非形にしたいと、別途支援を受け、2023年9月、みやぎの水源地七ヶ宿町に植樹することになりました。引き続き、使う責任「ゴミ減量・リサイクル」にご協力ください。



■情報発信(毎週更新) えしかるちゃんと一緒に考えよう!

世界の平和を願う国連が、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) 社会実現を誓ったSDGs。

SDGsについて理解を深め、あなたも社会を変える! 未来を変える! チェンジメーカーのひとりとして一緒に行動していきましょう。

みやぎGPN公認キャラクター! えしかるちゃん

■発行・編集 みやぎグリーン購入ネットワーク事務局

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈三丁目10-6 TEL.022-218-5451 FAX.022-375-7797

Email: [mi-green@miyagigpn.net](mailto:mi-green@miyagigpn.net) ホームページ: <https://www.miyagigpn.net/>



[こちらからどうぞ](#)

■SDGs出前講座開催中 SDGs NO.12実践による企業の具体的アクション掘り起こしを一緒に考えます。

■二酸化炭素排出量算定サービス 現状を把握し、省エネに向けた取組の推進と、クレジット取引によるカーボンニュートラル達成への道筋を見つけましょう。

・ご希望の方は、みやぎグリーン購入ネットワーク事務局までご連絡ください。

